

類別：機械器具（01）手術台及び治療台
一般医療機器 一般的名称：手術台システム JMDNコード：37325000

特定保守管理医療機器

販売名：MOT-8300分離式電動手術台（スタンダードテーブルトップ）

【警告】

1. 患者の任意の体位を確保するためにテーブルトップを屈折、または付属品で支持するときは、常に患者の状態を監視すること。[長時間の体位は神経麻痺やの原因になります]
2. 使用前に電磁的影響による誤作動がないことを確認すること。[併用する他の医用電気機器から、電磁的影響による誤作動が発生する場合があります]
3. 他社製手術台アクセサリ等を取り付けて使用する時は、ご購入店または弊社に相談すること。[手術台のサイドレールまたは差込孔寸法が異なるため固定できない場合があります]
4. 併用する機器やアクセサリを使用するときは、当該機器の添付文書または取扱説明書を読んで影響を確認すること。[誤った使用法は患者・操作者及び手術台・併用する機器やアクセサリに悪影響を及ぼします。]

【禁忌・禁止】

1. 手術台の設置
手術台を設置するときは、次のことをしないこと。
1. 手術台を凹凸のある床面に設置する。
2. 手術台を高くするために、コラムの下に当て物をいれる。
[手術台が転倒すると、重傷または死亡事故につながる場合があります。]
2. 電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、他の機器のキャスター等で乗り越えないこと。
[電源コードが破損して、火災や感電することがあります。]
3. テーブルトップの分離
レール受とレールの間に指を入れないこと。
[指をはさまれ怪我をする恐れがあります。]
4. 操作ボックスの取扱い
操作ボックスのコードを無理に引っ張ったり、強い衝撃を与えないこと。
[操作ボックスが破損すると、手術台を操作できません。]
5. ブレーキ解除
患者を載せた状態でブレーキ解除をしないこと。
[患者が転落することがあります。]
6. 操作中の作動部
手術台の操作中、屈折操作中の背板と腰板の隙間に手を入れないこと。
[手や指を挟んで怪我をすることがあります。]
7. テーブルトップの回転
テーブルトップに患者をのせた状態では回転しないこと。
[患者が転落する恐れがあります。]
8. テーブルトップの手動操作部
頭部板や脚板の上には乗ったり座ったりしないこと。
[手術台が転倒することがあります。]

9. 改造の禁止

手術台を分解または改造しないこと。
[故障の原因になります。]

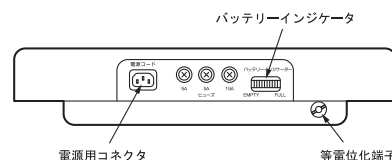
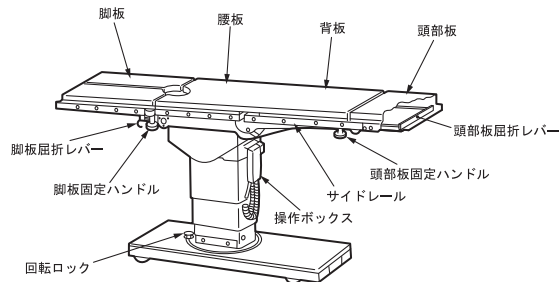
10. 手術台に患者を乗せるとき

頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せないこと。
[脚板が破損することがあります。]

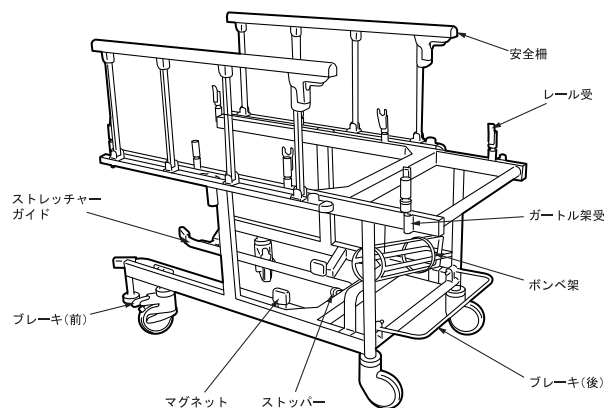
【形状・構造及び原理等】

1. 外観図

① テーブルトップ／コラム



② ストレッチャー



図は標準 DX ストレッチャー

取扱説明書を必ずご参照下さい。

2. 電気定格

JIS T 0601-1 による分類	クラス I 機器 (内部電源機器)
	B 形機器
定格電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
定格電源入力	250VA
バッテリー電源	DC24V
作動電圧	DC24V
本製品は EMC 規格 JIS T0601-1:2002 に適合している。	

3. 外寸・質量

テーブルトップ寸法	1925 mm (長) × 500 mm (幅)
コラム寸法	1023 mm (長) × 463 mm (幅)
質量	コラム : 237 kg / テーブル : 67 kg

4. 作動原理

操作ボックスからの電気信号によってモーターが回転します。モーターの回転力は同芯上の歯車減速器及び歯車によって減速・変向されます。

減速または変向された回転力は、各機能を作動するフレームに固定された同芯上の歯車を回転させるので、各機能が作動します。

【使用目的、効能又は効果】

本機器は、外科手術での使用を目的とします。

【品目仕様等】

1. 性能

電動

① 昇降範囲	最高位 : 1080 mm 最低位 : 710 mm
② 縦転角度	頭下がり : 25° 頭上がり : 25°
③ 横転角度	右下がり : 25° 左下がり : 25°
④ 背板屈折角度	上がり : 90° 下がり : 40°
⑤ 自動水平復帰	縦転／横転／背板屈折
⑥ その他	コラム固定／ブレーキ解除
⑦ 操作機器	操作ボックス

手動

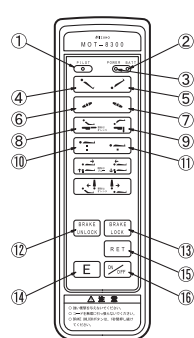
① 頭部板屈折角度	上がり : 60° 下がり : 90°
② 脚板屈折角度	下がり : 90°
③ 脚板展開角度	左右各 : 90°
④ 取外し	頭部板／脚板 (左右)
⑤ コラム旋回角度	時計方向 : 180°

【操作方法又は使用方法等】

機器の詳細な操作方は取扱説明書をお読みください。

1. 操作ボックス

操作ボックスは機能スイッチと同時に E スイッチを押します。スイッチを押す間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。



- ① パイロットランプ
- ② バッテリーランプ
- ③ パワーランプ
- ④ 縦転 : 頭上がり
- ⑤ 縦転 : 頭下がり
- ⑥ 横転 : 左下がり
- ⑦ 横転 : 右下がり
- ⑧ 背板屈折 : 上がり
- ⑨ 背板屈折 : 下がり
- ⑩ 昇降 : 上昇
- ⑪ 昇降 : 下降
- ⑫ ブレーキ解除
- ⑬ コラム固定
- ⑭ E スイッチ
- ⑮ 水平復帰
- ⑯ 電源 ON/OFF スイッチ

2. 電源の入れかた

- ① 電源コードを電源用コネクタと医用コンセントに差込む。
- ② 操作ボックスの ON/OFF を押す。パワーランプ緑とバッテリーランプ橙が点灯して電源が入ります。

3. 電源の切りかた

ON/OFF を押す。パワーランプ緑とバッテリーランプ橙が消灯して電源が切れます。

【使用上の注意】

詳細については、取扱説明書を使用前に必ず読んでください。

1. 警告

- ① 頭部板固定ハンドルは必ず締めること。ゆるんだ状態では頭部板が動いて、患者に障害がおきる恐れがあります。
- ② 脚板固定ハンドルは必ず締めること。ゆるんだ状態では脚板が動いて、患者に障害がおきる恐れがあります。
- ③ 手術台の修理は当社にて教育を受けた者が行います。修理が必要なときは必ずご購入店または当社に依頼をしてください。

2. 注意

- ① 操作ボックスのコードをストレッチャーに引っ掛けないこと。コードが引っ張られ破損する恐れがあります。
- ② 昇降範囲-100 および-150 のコラムにストレッチャーを装入するときは、頭方向から装入しないこと。昇降を最低位まで作動したときに、コラムを破損させる恐れがあります。
- ③ レール受の位置にある附属品は取外す。または、レール受の位置からずらすこと。附属品がレール受に当たり破損する恐れがあります。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 設置環境

JIS T 0601-1 医用電気機器	
—安全に対する一般的要求事項 : 環境条件	
周囲温度範囲	: 10°C~40°C
相対湿度範囲	: 30%~75%
気圧範囲	: 700hPa~1060hPa

2. 耐用期間

製造出荷後 10 年 : 自主基準 (推奨する保守点検を行った場合)

【保守・点検に係わる事項】

1. 使用前・使用後の点検事項

- ① バッテリー充電状態
バッテリーは充電された状態か。
- ② 電源スイッチ
電源スイッチ (ON/OFF) は確実に作動するか。
- ③ ストレッチャー
ストレッチャーの直進・フリー・固定およびキャスターの固定が確実に行えるか。
- ④ 分離・装着
テーブルトップとコラムの分離・装着が確実に行えるか。
- ⑤ 操作ボックス
操作ボックスの各機能 (ブレーキ・昇降・縦転・横転・背板屈折・水平復帰) は確実に作動するか。
- ⑥ 頭部板
頭部板の屈折が確実に行えるか。
- ⑦ 脚板
脚板の屈折・展開が確実に行えるか。
- ⑧ テーブルの回転
テーブルトップの回転が確実に行えるか。

2. 清掃・消毒の手順

- ① 電源を切って、電源コードを医用コンセントから外す。
- ② 使用する消毒剤の表示または説明書の内容を確認する。
- ③ 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒剤を浸したガーゼ等で清拭する。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

3. 定期点検

定期点検を希望される場合は、ご購入店または当社に相談してください。

【保証期間に係わる事項】

本品は納品/設置してから一年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：ミズホ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目30番13号

TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社千葉工場

取扱説明書を必ずご参照下さい。